

# 積小為大 (せきしょうだい)

～一日一日を大切に、積み重ねていく一年にしよう～

## 「どうせ無理」

## →だったら〇〇してみたら



例年より早く梅雨入りしたのかと思えば、最近はずっと晴天が続き、梅雨をとびこえて、夏が早くも近づいているのではないかと思えるような今日この頃です。暑さに負けてしまいそうですが、こんな時こそ、“熊野のつどい”で培った集団の力をを見せてほしいものです。

さて、先日の道徳の授業では、『どうせ無理』という言葉に負けない』という教材で授業を行いました。教材の中に出てくるロケットを作った人たちから多くのことを学び、振り返りには、『どうせ無理』は、絶対に無理ではないことがわかった。』とか『工夫をすることで不可能ではなくなるのがわかった。』などの意見がありました。

話は変わって、先日の“熊野のつどい”で、こんな感想が寄せられました。

「本当は江田島に行って皆と楽しく過ごしたかった。コロナの影響で熊野町内になったけど緊急事態宣言で熊野町内も駄目だった。でも、何とか学校でできるようになった“熊野のつどい”。各班の皆が協力してウォークラリーをすることができたと思います。全部で24問ある問題はどれも熊野のことについてより知ることができるような問題でした。誰もが思い出に残るような“熊野のつどい”になったと思います。」

まだまだ我慢の日々ですが、みんなの力で“熊野のつどい”ができたのだから、これからはきっと何かやれるはず。「どうせ無理」をシフトチェンジして、前向きな気持ちで学校生活を送ってほしいものです。(津留見 遼太)